

令和6年度 シラバス

教科名	芸術	科目名	美術I (1年次)	単位数	2
授業形態	実技 (作品制作)・鑑賞が中心				
選んでほしい生徒	美術に興味があり、絵画やデザインなどの作品を制作したいと思っている人				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力を高め、独創的なアイデアを引き出す力を付ける。 ・様々な表現技法により、自己のイメージを具現化する力を付ける。 ・作品鑑賞により美術文化についての理解を深める。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鉛筆を使った表現技法 2 アクリル絵の具による表現 3 デザイン作品制作 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 点描による作品制作 4 立体作品制作 5 鑑賞 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 版画作品制作 7 鑑賞 		<p>鉛筆やアクリル絵の具の基本的な使い方を身に付ける。</p> <p>アクリル絵の具によるデザイン作品制作を中心に、表現の基礎的な能力を高める。</p> <p>モノクロ写真を使った点描表現により、デッサンや描画方法を学び、基礎的な描写力を身に付ける。</p> <p>木材の彫刻作品制作により立体表現の基礎を学ぶ。</p> <p>特定の芸術家または作品を鑑賞し、レポートを作成する。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 技術的に上手であることよりも、自己の世界を独創的に表現しようと追求する姿勢が大切である。 2 用具の準備・片付けは基本的な生活習慣、大切なマナーであるという意識を持って授業に臨みたい。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないよう留意すること。 				
教材費	約5,000円 (アクリル絵の具セット・用紙・作品材料 等)				
その他	○ 作品制作や鑑賞を学ぶことにより、生涯にわたって美術を楽しむことを目指した授業であり、美術系への進学にも役立つ。				

令和6年度 シラバス

教科名	芸術	科目名	工芸I (2年次)	単位数	2
授業形態	講義・実技・鑑賞				
選んでほしい生徒	工芸に興味があり、工芸の知識や技術を身に付け生活に生かしたいと思っている人				
科目の目標	工芸の基礎的な知識と技術を学び、物作りの楽しさを味わいながら、知識や技術、表現力、鑑賞力を高め生活を心豊かにする心情を養う。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> 生活と工芸との関わりについての知識・理解を深める。 素材の特性を理解し、発想力を高め独創的なアイデアを引き出す力を付ける。 工芸作品の制作過程を理解し、基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】 色彩について</p> <ul style="list-style-type: none"> マンセル表色体系 PCCS表色体系 <p>【2学期】 土でつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 陶芸の基礎的な知識 基本的な技法による成形 <p>【3学期】 木でつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材工芸の基礎的な知識 箸の制作 		<p>色彩についての基礎的な知識を学び、色の表示方法、日常の中にある色彩の効果、配色の意味などを学習する。また、それらの知識を基に実技課題を制作する。</p> <p>陶芸の基礎的な知識、技術を学ぶ。陶芸の歴史、釉薬や粘土の成分の知識を生かし、実技課題を制作する。</p> <p>実技内容は、手捻り、板づくりなどの基本技法を学ぶ。</p> <p>木材工芸の基礎的な知識を学び、日常生活にある工芸品の制作技術を学ぶ。また、道具や木材の知識を生かし実技課題を制作する</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	対象や事象を捉える創造的な視点について理解している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや願いから発想や構想を練ったり、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 一つ一つの工程をきちんと身に付けよう。 準備や後片付けをきちんとする習慣を身に付けて安全で作業しやすい環境を作ろう。 定期考査があります。ノートをきちんととり、しっかりと知識を身に付けよう。 				
教材費	約6,500円(陶土、釉薬、木材 等)				
その他					

令和6年度 シラバス

教科名	芸術	科目名	工芸Ⅱ（3年次）	単位数	3
授業形態	実技（作品制作）が中心				
選んでほしい生徒	陶芸、ペーパークラフト、七宝焼きなどの様々な工芸作品制作に興味がある人				
科目の目標	美的造形性や機能性を主とする造形のデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・生活とものとの関わりについての理解を深める。 ・発想力を高め、独創的なアイデアを引き出す力を付ける。 ・様々な表現技法により、自己のイメージを具現化する力を付ける。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ペーパークラフト1作品制作 2 陶芸1作品制作 3 鑄造作品制作 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 アクリル板照明作品制作 5 七宝焼き作品制作 6 コルク工芸作品制作 7 ペーパークラフト2作品制作 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 陶芸2作品制作 		<p>陶芸の基本的な制作過程と技術を学び、生活の中で使用できるオリジナルの器を制作する。</p> <p>装飾的工芸作品を制作し、表現技術を高める。</p> <p>七宝焼きなどのアクセサリ作りにより、もの作りの楽しさを味わいながら独創的な表現力を付ける。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせて、身近な生活や社会的な視点から創造的で心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え、心豊かに制作の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸の創造活動の喜びを味わい、身近な生活及び社会における工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現する技術の向上に努めながら、自己の世界を独創的に表現しようと追求する姿勢を大切にする。 2 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度を高め、未提出作品がないように留意すること。 				
教材費	約6,000円（陶土・七宝素材・作品材料等）				
その他	○ 陶芸で製作する器や置物、七宝焼きのアクセサリなどは身近な日常生活で使われている。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	素描（2年次）	単位数	4
授業形態	講義・実技・鑑賞				
選んでほしい生徒	美術系への進学や、将来、デザイン、建築関係の仕事に就きたいと考えている人。受験に備えての美術に興味があり、絵画やデザインなどの作品を制作したいと思っている人。				
科目の目標	鉛筆デッサンを主体とした基本的な内容から、対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキーやスケッチなど、短時間で対象物を表現する力をつける。 ・対象物の細部まで描き込んだリアルな表現力をつける。 ・様々な描画材料を体験し自己のイメージを具現化する力をつける。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幾何形体の表現 2 静物デッサンなど <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 石膏デッサン 4 木炭デッサン 5 静物デッサンなど <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 混合技法 7 コンテ画など 		<p>鉛筆デッサンの基礎的な内容を学び表現力をつける。</p> <p>木炭デッサンの基礎的な内容を学び、木炭の特性を生かした表現力をつける。 様々なモチーフを組み合わせることで想像の世界を表現する。</p> <p>コンテ画の基礎的な内容を学び、表現力を高める。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のイメージや空間を把握するための専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に造形表現を追求しようとしている。 		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現する技術の向上に努めながら、自己の世界を独創的に表現しようと追求する姿勢を大切にす。 2 用具の準備・片付けは基本的な生活習慣、大切なマナーであるという意識を持って授業に臨む。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度をたかめ、未提出作品がないよう留意すること。 				
教材費	約3,000円（クロッキー帳・鉛筆・用紙 等）				
その他	○ 対象物の観察力と表現力が高まることにより、専門的な内容の理解が深まり、生涯にわたって美術に関わることを目指している。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	素描（3年次）	単位数	4
授業形態	講義・実技・鑑賞				
選んでほしい生徒	美術系への進学や、将来、デザイン、建築関係の仕事に就きたいと考えている人。受験に備えての美術に興味があり、絵画やデザインなどの作品を制作したいと思っている人。				
科目の目標	鉛筆デッサンを主体とした基本的な内容から、対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキーやスケッチなど、短時間で対象物を表現する力をつける。 ・対象物の細部まで描き込んだリアルな表現力をつける。 ・様々な描画材料を体験し自己のイメージを具現化する力をつける。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幾何形体の表現 2 静物デッサンなど <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 石膏デッサン 4 木炭デッサン 5 静物デッサンなど <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 混合技法 7 コンテ画など 		<p>鉛筆デッサンの基礎的な内容を学び表現力をつける。</p> <p>木炭デッサンの基礎的な内容を学び、木炭の特性を生かした表現力をつける。 様々なモチーフを組み合わせることで想像の世界を表現する。</p> <p>コンテ画の基礎的な内容を学び、表現力を高める。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象のイメージや空間を把握するための専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に造形表現を追求しようとしている。 		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現する技術の向上に努めながら、自己の世界を独創的に表現しようと追求する姿勢を大切にす。 2 用具の準備・片付けは基本的な生活習慣、大切なマナーであるという意識を持って授業に臨む。 3 定期考査を実施しない分、それぞれの作品の完成度をたかめ、未提出作品がないよう留意すること。 				
教材費	約3,000円（クロッキー帳・鉛筆・用紙 等）				
その他	○ 対象物の観察力と表現力が高まることにより、専門的な内容の理解が深まり、生涯にわたって美術に関わることを目指している。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	絵画（2年次）	単位数	4
授業形態	作品制作（油彩、水彩、デッサン、コラージュ等）・作品鑑賞				
選んでほしい生徒	絵画制作に興味があり、表現能力や作品の鑑賞能力を高めたいと思っている人。				
科目の目標	様々な表現形式による絵画表現によって、絵の具などの材料・用具の特性や、技法、陰影表現、色彩及び空間への理解を深め、豊かな表現力と主体的な鑑賞の能力を高める				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの表現形式に必要な用具や技法の理解を深め、それらの特性を十分に生かしながら表現力を高める。 自分の感性を生かした独自の表現を追求することができる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>1 トーンセパレーション (アクリル絵の具による人物画表現)</p> <p>【2学期】</p> <p>2 自画像デッサン (素描による自画像表現)</p> <p>3 自画像油彩 (油絵の具を使った自画像表現)</p> <p>【3学期】</p> <p>4 コラージュ画 (様々な材料を使用した抽象表現)</p>		<p>人物画の制作により、デッサン力、色彩感覚、画材に対する知識を深め、絵画の基礎を学習する。</p> <p>自己の内面をしっかりと見つめながら、1学期の基礎を生かしたより深い絵画表現を追求する。</p> <p>画家の作品研究や鑑賞を行う。</p> <p>様々な画材や、抽象表現を理解し表現する。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> 表現形式の特性について理解を深めると共に、専門的な技能を身につけ、独創的・創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵画の表現及び鑑賞に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に絵画表現の可能性を追求しようとしている。 		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 授業作品の充実度や完成度を重視するので、休まず授業に出席して、制作に専念する姿勢が大切である。 色彩豊かに、オリジナリティあふれる表現を心がけたい。 画材道具の名前や用途、効果をしっかりと把握して、様々な技法を体験しながら表現力を高めたい。 				
教材費	約5,000円（アクリル絵の具セット・用紙・作品材料等）				
その他	○ 美術系の進学にも役立つとともに、絵を描くことや鑑賞することを学び楽しむための授業である。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	絵画（3年次）	単位数	4
授業形態	作品制作（油彩、水彩、デッサン、コラージュ等）・作品鑑賞				
選んでほしい生徒	絵画制作に興味があり、表現能力や作品の鑑賞能力を高めたいと思っている人。				
科目の目標	様々な表現形式による絵画表現によって、絵の具などの材料・用具の特性や、技法、陰影表現、色彩及び空間への理解を深め、豊かな表現力と主体的な鑑賞の能力を高める				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの表現形式に必要な用具や技法の理解を深め、それらの特性を十分に生かしながら表現力を高める。 自分の感性を生かした独自の表現を追求することができる。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>1 トーンセパレーション (アクリル絵の具による人物画表現)</p> <p>【2学期】</p> <p>2 自画像デッサン (素描による自画像表現)</p> <p>3 自画像油彩 (油絵の具を使った自画像表現)</p> <p>【3学期】</p> <p>4 コラージュ画 (様々な材料を使用した抽象表現)</p>		<p>人物画の制作により、デッサン力、色彩感覚、画材に対する知識を深め、絵画の基礎を学習する。</p> <p>自己の内面をしっかりと見つめながら、1学期の基礎を生かしたより深い絵画表現を追求する。</p> <p>画家の作品研究や鑑賞を行う。</p> <p>様々な画材や、抽象表現を理解し表現する。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> 表現形式の特性について理解を深めると共に、専門的な技能を身につけ、独創的・創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵画の表現及び鑑賞に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に絵画表現の可能性を追求しようとしている。 		
上記の観点を踏まえ、作品制作、出席状況、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 授業作品の充実度や完成度を重視するので、休まず授業に出席して、制作に専念する姿勢が大切である。 色彩豊かに、オリジナリティあふれる表現を心がけたい。 画材道具の名前や用途、効果をしっかりと把握して、様々な技法を体験しながら表現力を高めたい。 				
教材費	約5,000円（アクリル絵の具セット・用紙・作品材料等）				
その他	○ 美術系の進学にも役立つとともに、絵を描くことや鑑賞することを学び楽しむための授業である。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	版画	単位数	2
授業形態	実技（作品制作）・鑑賞が中心				
選んでほしい生徒	美術Ⅰを履修済みの人で絵画の能力を一層伸ばし、美術や文化遺産などについての理解をさらに深めたい人。				
科目の目標	版画の創造的な諸活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力を高め、独創的なアイデアを引き出す力を付ける。 ・様々な表現技法により、自己のイメージを具現化する力を付ける。 ・作品鑑賞により美術文化についての理解を深める。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <p>1 多色木版画作品制作</p> <p>2 鑑賞</p> <p>【2学期】</p> <p>3 金属版画作品制作</p> <p>4 鑑賞</p> <p>【3学期】</p> <p>5 金属版画作品制作</p> <p>6 鑑賞</p>		<p>多色木版画制作を通して、発想力と表現力の能力を高める。</p> <p>様々な技法で制作された版画を鑑賞し、多様な表現の可能性を理解する。</p> <p>金属版画作品制作を通し、発想力と表現力の能力を高める。</p> <p>様々な技法で制作された版画を鑑賞し、多様な表現の可能性を理解する。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な版画の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・版画の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 		
上記の観点を踏まえ、作品、授業への取組、提出物を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様なアイデアを発想するための視点の複数化を意識する。 2 作品をよりよくするためには、何が必要か考える。 3 作品の完成度を高め、未提出作品がないよう留意すること。 				
教材費	約5,000円（用紙、木版、インク、彫刻刀、スクリーンセット等）				
その他	○ 作品制作や鑑賞を学ぶことにより、生涯にわたって美術を楽しむことを目指した授業であり、美術系への進学にも役立つ。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	ビジュアルデザイン（2年次）	単位数	2
授業形態	実技（作品制作）				
選んでほしい生徒	美術系への進学や、将来、デザイン、美容関係の仕事に就きたいと考えている人。また色彩について興味があり、デザイン作品を制作したいと思っている人				
科目の目標	視覚的な伝達効果を主とするデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン作品制作により表現力を高める。 ・色に関する知識や技能を理論的、系統的に学習し理解を深める。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 デザインの基礎（光、色彩） 2 デザインの基礎（混色、配色） 3 ポスター制作など <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 平面構成など 5 立体構成など 6 ポスター作品制作など <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 デザイン作品制作など 		<p>制作を通してアイデアをどのように発想すればよいか、そのアイデアを具体化する際の適切なレイアウトとは、作品のイメージに基づいた配色等についての理解を深める。</p> <p>平面構成作品の制作を通して、表現力を高める。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付け、独創的・創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアルデザインの表現及び鑑賞に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にビジュアルデザインの可能性を追求しようとしている。 		
上記の観点を踏まえ、作品、授業への取組、提出物を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様なアイデアを発想するための視点の複数化を意識する。 2 作品をよりよくするためには、何が必要か考える。 3 作品の完成度を高め、未提出作品がないよう留意すること。 				
教材費	約1,500円（パネル・作品材料・用紙等）				
その他	美術系への進学にも役立つとともに、身近な生活の中で視覚デザインが及ぼす様々な影響などについて関心が高まる。				

令和6年度 シラバス

教科名	美術	科目名	ビジュアルデザイン（3年次）	単位数	2
授業形態	実技（作品制作）				
選んでほしい生徒	美術系への進学や、将来、デザイン、美容関係の仕事に就きたいと考えている人。また色彩について興味があり、デザイン作品を制作したいと思っている人				
科目の目標	視覚的な伝達効果を主とするデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。				
身に付けてほしい学力	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン作品制作により表現力を高める。 ・色に関する知識や技能を理論的、系統的に学習し理解を深める。 				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 デザインの基礎（光、色彩） 2 デザインの基礎（混色、配色） 3 ポスター制作など <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 平面構成など 5 立体構成など 6 ポスター作品制作など <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 デザイン作品制作など 		<p>制作を通してアイデアをどのように発想すればよいか、そのアイデアを具体化する際の適切なレイアウトとは、作品のイメージに基づいた配色等についての理解を深める。</p> <p>平面構成作品の制作を通して、表現力を高める。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<p>・視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付け、独創的・創造的に表している。</p>	<p>・ビジュアルデザインの表現及び鑑賞に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的に思考、判断し、表現している。</p>	<p>・主体的にビジュアルデザインの可能性を追求しようとしている。</p>		
上記の観点を踏まえ、作品、授業への取組、提出物を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様なアイデアを発想するための視点の複数化を意識する。 2 作品をよりよくするためには、何が必要か考える。 3 作品の完成度を高め、未提出作品がないよう留意すること。 				
教材費	約1,500円（パネル・作品材料・用紙等）				
その他	美術系への進学にも役立つとともに、身近な生活の中で視覚デザインが及ぼす様々な影響などについて関心が高まる。				